

能登半島地震支援をふりかえる ～ソーシャルワークの役割～

2024年、まさかの元旦に発生した能登半島地震では、金沢市内に1.5次避難所が設置されるなど広域避難の仕組みが稼働し、災害福祉支援の新たな一歩がスタートしました。一方で、甚大な被害を受けた奥能登地域の避難所では、高齢化率が50%を超える中で、「故郷を離れたくない」「その判断がつかない」という高齢者が少なくありませんでした。

このような被災者を支えるため、本会会員も長野県DWA Tとして3月末まで一般避難所や福祉避難所の運営支援に参加しました。また、被災家屋の片づけに尽力した災害ボランティアセンターの運営支援においても、被災地社協を支えながら、他の応援スタッフや外部支援のNPOとも連携し、地域に視点をおいた本会会員の活躍がありました。

本セミナーでは、このほかに、復興期に向かう過程での被災者見守り相談支援事業（地域ささえあいセンター）の支援も含めて、能登半島地震における社会福祉士による支援をふりかえり、災害時におけるソーシャルワークの役割について考えます。

研修方法 Zoomによるオンライン

開催日時 2025年1月25日(土) 10:00～12:00

- 内容**
- 10:00 開会・オリエンテーション
 - 10:05 **【第1部】実践報告 「能登半島地震支援をふりかえる」**
本会会員で、DWA T、災害ボランティアセンター、地域ささえあいセンター支援実践者からの報告
(進行) 災害福祉支援委員会
 - 10:50 **【第2部】ディスカッション**
ブレイクアウトルームに分かれ、実践報告に加えて、参加者各自の日頃のソーシャルワーク実践を踏まえ、被災者支援におけるソーシャルワークの役割について考えます。
 - 11:20 **【第3部】まとめのセッション**
DWA T、災害ボランティアセンター、地域ささえあいセンターに関わるリーダー層により、社会福祉士としてのアイデンティティや専門職の価値について協議します。
 - 12:00 終了

申し込み

申し込みフォーム (<https://forms.gle/m7RQfoRDTQTKyQkX6>) により、1月20日(月)までにお申し込みください。

参加者には、事前に事務局よりメールにてZoom接続用URLとセミナーの資料を送ります。

